

平成30年度 社会福祉法人 稲美町社会福祉協議会 事業報告

1 在宅福祉サービスの推進

(1) 職員の構成（平成 31 年 3 月 31 日現在）

事務局	居宅介護支援事業所	訪問看護事業所	訪問介護事業所
10 名	4 名	14 名	11 名
小規模多機能居宅介護事業所		療養通所介護事業所	
22 名		9 名	

(2) 居宅介護支援事業所こぶしの活動状況

《事業の概要》

要介護者や要支援者からの相談を受け、自立した日常生活を営むのに必要な援助に関する知識、技術を有したケアマネジャーが、心身の状況に応じた適切なサービスが受けられるようにケアプラン（介護サービス等の提供についての計画）を作成し、連絡調整等を行っています。

主任ケアマネジャーの研修を受けた者を配置し、24 時間の連絡相談及び実習生の受け入れや特定事業所加算を取得した他事業所との研修会を計画し参加しています。

《現状と課題》

昨年度のケアマネジャー全国受験者数、合格者はともに 6 割以上減っています。その背景には、受験対象資格が大幅に変更となったことや、3 年に 1 度の介護保険制度の見直し、それに伴う事務業務が膨大になっていること、職種としての守備範囲が不明確で割に合わないなどケアマネジャーの仕事自体の魅力が減少したと言われており、ケアマネジャーが減り続けて行くことも予想されています。しかし、数年後には高齢者が 3 人に 1 人となります。

私たちケアマネジャーは、住民の方々が、住み慣れた場所で暮らしていくことやどこで最期を迎えるかの決定支援をしていく上で、介護保険だけに留まらず高い介護と医療の専門的知識や課題分析力等資質の向上、さらに医療分野等と広く連携する力を研鑽していくことが課題です。

① 介護相談 59 件（ケアマネジメント依頼：52 件、介護：14 件、認知症：16 件）

＊介護相談重複

友愛訪問、傾聴、地域包括支援センターへの連携、サービス利用前にご逝去

② 友愛訪問 58 件（自宅：18 件 その他：40 件）

＊認知症で自覚が乏しく家族との関係性が悪化、友愛訪問で顔を知ってもらう事でサービスに繋がった。「安心」に繋がった。

③ ケアプラン作成状況（延べ件数） 新規： 32 件 終了： 33 件

（平成 30 年度）

	要支援	要介護Ⅰ	要介護Ⅱ	要介護Ⅲ	要介護Ⅳ	要介護Ⅴ	合 計
件 数	375	301	283	212	103	81	1,355

（平成 29 年度）

	要支援	要介護Ⅰ	要介護Ⅱ	要介護Ⅲ	要介護Ⅳ	要介護Ⅴ	合 計
件 数	327	294	308	234	111	77	1,351

④ 担当者会議 207 件

⑤ 医療連携（入院時情報提供） 58 件

⑥ 退院前カンファレンス参加 35 件

⑦ 要介護認定訪問調査 町内： 3 件 町外： 10 件

⑧ 研修・出張状況

月 日	研 修 名
4 月 16 日～8 月 20 日	ケアマネジャー 更新研修 A 前期（全 10 回）
5 月 16 日	南播磨支部総会・記念講演（3 名参加）
5 月 16 日	30 年度 気づきの事例検討会
5 月 31 日	兵庫県認定調査員研修
6 月 16 日	30 年度 県ケアマネジャー協会 総会記念講演
7 月 18 日	第 2 回 気づきの事例検討会
9 月 9 日	在宅看取りにおける看護とケアマネの役割
9 月 19 日	第 3 回 気づきの事例検討会

10月17日～12月12日	主任ケアマネ研修 全9回
10月24日～1月26日	ケアマネジャー 更新研修A（後期）（全6回）
11月11日	30年度ケアマネジャー 臨時総会・伝達研修
11月21日	第4回 気づきの事例検討
12月22日	難病研修 （4名参加）
1月15日	30年度 難病患者在宅療養支援会議（2名参加）
1月16日	第5回 気づきの事例検討会
1月21日	30年度 介護予防のための地域ケア会議の普及展開に向けたケアマネ事業所向け研修
2月1日	30年度 第2回南播磨支部研修会（3名参加）
2月7日	第2回 医療・介護による終末期対応 向上研修会
2月13日	第6回 気づきの事例検討会
3月10日	認知症機能訓練研修（4DS研修）
3月12日	モニタリング訪問時にできる災害の備え

- ・稲美町ネットワーク会議（事例検討会・在宅ケア向上研修会）：年4回
- ・稲美町ケアマネ会議（介護保険制度改正）：5月
- ・特定事業所加算取得事業所合同研修（事例検討・民生児童委員合同研修・企画連絡会）
- ・主任ケアマネジャー活動（ケアマネジャー支援・事例検討会）：（年6回）

(3) いなみ訪問看護ステーションの活動報告

《事業の概要》

看護師やセラピスト（理学療法士・作業療法士）などがお住まいを訪問し、療養生活を送っている方の看護やリハビリを行うサービスです。本人や家族の意思・ライフスタイルを尊重して、QOL(生活の質)が向上できるよう予防的支援から看取りまでを支えます。

医師と連携して病気の発症や重症化を防止します。また、家族の相談と支援も行います。病気や障害のために療養生活の支援を必要とする方で（乳幼児から高齢者まで）医師が訪問看護の必要を認めた方すべてが対象になります。

在宅療養が継続できるようケアマネジャーや多職種との連携にも努めています。

《現状と課題》

リハビリスタッフが増え依頼に応えられるようになりましたが、訪問看護師不足は常に課題となっています。

また、短時間訪問が増え収益に反映されにくい点が経営の課題です。

- ① 対象者 総数 136 名
 新ケース 49 名 終了ケース 52 名（内、在宅死亡 15 名）

- ② 訪問件数（NS＝看護師、PT＝理学療法士、OT＝作業療法士）

平成 30 年度 訪問総延べ件数 6,355 件

	介護保険					予防介護保険				
	20 分 訪問	30 分 訪問	60 分 訪問	90 分 訪問	合計	20 分 訪問	30 分 訪問	60 分 訪問	90 分 訪問	合計
NS 訪問	61	840	1,403	264	3,623	12	432	440	3	1,088
	20 分訪問	40 分訪問	60 分訪問			20 分訪問	40 分訪問	60 分訪問		
PTOT	2	606	447			1	132	68		

	医療訪問	合計
NS 訪問	1,168	1,644
PTOT	476	

平成 29 年度 訪問総延べ件数 6,340 件

	介護保険					予防介護保険				
	20 分 訪問	30 分 訪問	60 分 訪問	90 分 訪問	合計	20 分 訪問	30 分 訪問	60 分 訪問	90 分 訪問	合計
NS 訪問	39	647	1,424	482	3,323	12	342	378	1	909
	20 分訪問	40 分訪問	60 分訪問			20 分訪問	40 分訪問	60 分訪問		
PTOT	0	389	342			2	94	80		

	医療訪問	合計
NS 訪問	1,659	2,108
PTOT	449	

③ 主治医 町内 8名 町外 40名

④ 実習生受入れ

西神看護専門学校 H30年5月31日～6月14日(2名)

西神看護専門学校 H30年8月27日～9月10日(3名)

⑤ 研修・出張状況

月 日	研 修 名
5月31日	第30回難病セミナー(3名参加)
7月19日	がん疾患患者の看取り
9月22日	摂食・嚥下障害へのアプローチと口腔ケア
10月4日	アドバンス・ケア・プランニング 「いのちの終わりについて話し合いを始める」(3名参加)
10月21日	加古川循環器リハビリテーション懇話会
10月27日	がん疼痛の治療とケア
11月2日	加古川呼吸器リハビリテーション勉強会(2名参加)
11月13日	緩和ケアセミナー(4名参加)
11月24日	家族看護を考えよう
12月4日	呼吸ケア・リハビリテーションの基礎(3名参加)
1月10日	フィジカルアセスメント 石川朗先生(3名参加)
2月2日	県介護支援専門員協会 南播磨支部研修会
2月7日	県作業療法士 東播磨ブロック勉強会(2名参加)

・ステーション連絡会(2ヶ月に1回開催) 6回

・稲美町ネットワーク会議 1回

・入院患者、短期入所者状況把握(退院前カンファレンス) 18件

(4) 療養通所介護事業所 ひだまり畑 活動報告

《事業の概要》

医療的ケアを要し、常に看護師による観察が必要な重度の要介護者や難病の方に通所していただける施設です。また、医療依存度の高い重度心身障がい者（児）の日中一時支援も行っています。職員2名以上、そのうち1名は看護師で個別送迎、個別入浴を行っており、利用者1.5人に対しスタッフ1人以上の配置が必要な事業所です。

《現状と課題》

平成30年度は、難病の方が新たに利用されることになり、重度心身障がい者（児）の方と介護保険利用者数が同じになりました。医療的ケアが必要な方も増えています。職員数に変わりはないため1日の利用者数は3名が適当だと考えます。職員に関しては、実務経験がないと実際のケアは難しい様子で採用しても短期間でやめてしまうため、人材の確保と育成が今後の課題と考えます。

	平成29年度	平成30年度
利用者実数	11名	10名
介護保険利用者	4名	5名
日中一時利用者	7名	5名
利用延べ回数	576回	552回

- ・新規契約者 3名
- ・終了者 2名（死亡：1名 入所：1名）
- ・臨時休業 4日（警報：2日 利用者無し：1日 スタッフの確保困難：1日）
- ・利用の問い合わせ 7件（内訳）介護保険利用者：7件（こぶし：6件 稲美苑：1件）

① 研修・出張状況

月 日	研 修 名
4月21日	在宅医療展2018
6月23日	利用者と介護者の体を守る介護技術研修
6月28日	在宅、施設での摂食嚥下・口腔ケア（2名参加）
10月21日	「毎日がアルツハイマー ザ・ファイナル」

10 月 25 日	アセスメントスキル向上研修
11 月 2 日～ 11 月 3 日	呼吸リハビリテーションの導入継続のポイント（増悪入院を繰り返さないために）
11 月 18 日	ほっとホットセミナー「生きててよかったやん」

② 実習受け入れ

西神看護専門学校 5 名 （訪問看護ステーションの実習期間中に 1 日）

社会福祉士の実習生 1 名

(5) 訪問介護事業所 スマイル 173（いなみ）活動報告

《事業の概要》

介護援助の必要な、高齢者および障がいのある方にホームヘルパーを派遣しています。また、障がいのある方が障害福祉サービスを利用する際に必要な計画作成を行う指定特定相談支援事業も実施しています。

《現状と課題》

訪問介護の特性として、必要とされる時間帯が介護保険・訪問サービス・障害福祉サービスのいずれもが朝夕に重なってしまうことがあります。その為依頼を受けたくても人員不足で受けられないことがあったり、また日中に働きたいスタッフが、朝夕に偏るこの仕事を敬遠し離職する傾向にあるのが現状です。

近年、発達障害・精神障害の利用者が増加の傾向にあるため、障がいの特性を更に理解していくことが今後の課題です

① 延べ利用者数＝ 895 人（平成 30 年度）

介護保険	訪問型	有料	自立支援居宅	同行援護	移動支援	エンゼルヘルプ
190 人	283 人	2 人	237 人	62 人	121 人	0 人

延べ利用者数＝ 872 人（平成 29 年度）

介護保険	訪問型	有料	自立支援居宅	同行援護	移動支援	エンゼルヘルプ
176 人	280 人	5 人	219 人	72 人	120 人	0 人

② 介護保険 (平成 30 年度)

	身 体 介 護	生 活 援 助	身 体 生 活	合 計
時 間	1,340.50H	563.25H	367.41H	2,271.16H
回 数	1,471 回	569 回	269 回	2,309 回

介護保険 (平成 29 年度)

	身 体 介 護	生 活 援 助	身 体 生 活	合 計
時 間	1,207.5H	607.0H	461.82H	2,276.32H
回 数	1,458 回	689 回	341 回	2,488 回

③ 訪問型サービス (総合事業) (平成 30 年度)

	身 体 介 護	生 活 援 助	身 体 生 活	合 計
時 間	0H	789.00H	571.50H	1,360.50H
回 数	0 回	1024 回	672 回	1,696 回

訪問型サービス (総合事業) (平成 29 年度)

	身 体 介 護	生 活 援 助	身 体 生 活	合 計
時 間	9.00H	902.50H	525.75H	1,437.25H
回 数	18 回	1,125 回	595 回	1,738 回

④ 障害福祉サービス (平成 30 年度)

	身体介護	家事援助	同行援護 基本決定	同行援護 (身介有)	通院介助 (身介有)	重度訪問	移動支援 (身介無)	移動支援 (身介無)	合計
時間 (H)	1,205.5	1,730.5	196.5	62.0	10.0	12.0	234.5	265.0	3,716.0
回数	1,655	1,599	141	36	5	2	230	184	3,852

障害福祉サービス (平成 29 年度)

	身体介護	家事援助	同行援護 (身介有)	同行援護 (身介無)	通院介助 (身介有)	通院介助 (身介無)	移動支援 (身介有)	移動支援 (身介無)	合計
時間 (H)	1,110.5	1,550.0	54.5	244.5	16.0	0	301.5	249	3526.0
回数	1,510	1,461	53	128	8	0	297	159	3,616

- ・有料 2件 16.00H
- ・エンゼルヘルパー 延べ 0名
- ・布団丸洗い 延べ 3名

⑤ 研修・出張状況

月 日	研 修 名
4 月 20 日	平成 30 年度東播磨ブロックホームヘルプ事業者協議会総会 第 1 回職員研修会
6 月 4 日	東播磨臨海精神保健協会 記念講演会 3 名参加
6 月 12 日	糖尿病の検査・治療について 5 名参加
7 月 19 日～20 日	相談面接技術研修
8 月 2 日	平成 30 年度 地域ネットワーク会議（介護保険事業所研修会）
11 月 26 日～12 月 2 日	痰吸引等 特定の者対象（第 3 号）基本研修 全 3 回 2 名参加
2 月 19 日	東播磨ブロックホームヘルプ事業者協議会 職員研修
2 月 20 日	発達障害の世界 「子どもたちの育ちを支えるヒント」
3 月 7 日	障がいのある方の理解とかかわり
3 月 22 日	障害者総合支援法等 関係事業者説明会

- ・その他、在宅サービスセンターの内部研修に参加
- ・稲美町ネットワーク会議（2 ヶ月に 1 回開催）

⑥ 指定特定相談支援事業

延相談件数	計画作成件数	モニタリング
1	8（実人数 8 人）	4

⑦ 研修・出張状況

月 日	研 修 名
11 月 27 日	稲美町地域自立支援協議会 こども部会
3 月 4 日	稲美町地域自立支援協議会 こども部会

(6) ひなたんぼ小規模多機能ホーム 活動報告

《事業の概要》

通所、宿泊、訪問をご利用お客様のニーズに合わせ柔軟に組み合わせてご利用いただけます。

24 時間 365 日営業の事業所です。宿泊は、一日 5 名まで、通所は原則 15 名までです。

《現状と課題》

プラン外の突発的な宿泊受け入れが喜ばれている反面、通所や宿泊を多く利用したい方があり調整が必要になっています（宿泊 5 名、通所 15 名）。

それまで他のデイサービスののみを利用されていた方の相談で、宿泊が必要だからと契約するも短期間利用で入所になるケースがあったり、独居等、訪問を含めても在宅支援が難しい方もいらっしゃいます。

① 登録・利用状況

新規： 8 件（こぶし 2、包括 1 家族 5）

終了： 7 件（入所 2、入院 3、自己都合 2）

相談： 25 件（家族 5、包括 9、居宅 5 {内こぶし 3} 老健 2、HP3、個人 1）

見学： 1 件

友愛訪問：入所、入院施設、独居の方が利用に繋がるまでの訪問

平成 30 年度

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
登録者	20	19	18	19	19	18	18	18	19	19	18	21	226

・利用実日数（日）

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
通い	30	31	30	31	31	30	31	30	31	30	28	31	364
訪問	30	31	30	31	31	30	31	30	31	30	28	31	364
泊まり	25	26	24	23	26	19	21	19	22	21	18	22	266

・利用延べ人数（人）

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
通い	334	329	306	320	328	296	306	297	321	278	267	311	3,693
訪問	73	78	75	83	77	94	100	88	92	86	46	106	998
泊まり	77	82	78	70	80	64	60	52	66	50	87	58	824

・介護度別利用者数及び平均介護度（申請中 2 名）

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
支援 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支援 2	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
介護 1	7	7	6	6	8	8	8	8	8	8	6	7	78
介護 2	6	6	6	4	6	5	5	5	5	5	6	6	53
介護 3	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	2	2	22
介護 4	2	2	2	3	2	2	2	2	1	2	1	1	26
介護 5	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	23
平 均 介護度	2	2.1	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.2	2.3	2.4	2.3	2.2

② 運営推進会議（5 月、7 月、9 月、11 月、H31 年 1 月、3 月）

③ 協力病院との連携

- ・宮本歯科医院協力にて歯科検診の実施（6 月）

④ 実習及び施設受け入れ

- ・県立西神戸高等特別支援学校 1 名（7 月）
- ・神戸医療福祉大学 2 名（8 月・9 月）
- ・西神看護専門学校 2 名（10 月）
- ・トライやる：稲美中学校 1 名・稲美北中 2 名

⑤ ボランティア協力

- ・散髪（1 回/月）
- ・歌とお話し（1 回/月）
- ・傾聴（月 1 回）
- ・カラオケポップスター（月 1 回）

⑥ 地域との交流

- ・加古幼稚園との交流、7 月七夕、12 月クリスマス。
- ・買い物ツアー（西二見イトーヨーカドー等 動物販売店にて交流）
- ・近隣散策ドライブ（二見港、加古大池、小野、三木方面、喫茶店）
- ・月に 1 回外出企画（足湯、工場見学：アサヒ飲料）

⑦ 研修・出張状況

月 日	研 修 名
5 月 7 日、5 月 29 日	チームマネジメントリーダー研修会（全 2 回）
6 月 12 日	地域勉強会 糖尿病について 川口先生（2 名参加）
8 月 2 日	在宅ケア向上研修会
10 月 25 日	アセスメントスキル向上研修
11 月 6 日	苦情解決セミナー
12 月 11 日	苦情解決セミナー
3 月 15 日	介護支援専門員 手話講座（応用編）

(7) 給食サービス

《事業の概要》

高齢や障がいなどで調理が困難な家庭に、毎週水曜日（7、8 月除く）に給食ボランティアが調理したお弁当を民生委員・児童委員や民生協力委員、配送ボランティアが見守りを兼ねてご自宅までお届けしています。

《現状と課題》

配食数は年々減少しており、新規申込は時々ありますが現在は 30 食足らずです。入院等での休止から入所になり、サービス終了というケースがよくあります。

見守りを目的に実施している事業ですが、食事の確保が必要な方にとっては、週に 1 回一食という内容が合っていないのが現状です。

対象者 一人暮らしの高齢者・障害者・高齢者世帯等

サービス内容 第 1～第 5 水曜日（7 月・8 月除く）

利用料金 200 円／回

給食サービス活動状況

	4 月	5 月	6 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
延利用者数	104	127	102	97	137	111	110	101	103	101	1,093 人
ボランティア	36	42	35	35	40	34	36	34	36	35	363 人
実施日数	4	5	4	4	5	4	4	4	4	4	42 日
配送ボランティア	6	8	5	4	9	8	8	6	8	8	70 人

調理担当	調理ボランティア	37名		
配送担当	担当民生委員	16名	民生協力委員	27名
	民友会	9名	配送ボランティア	5名

(8) 外出支援サービス事業

《事業の概要》

町が実施している「いきいきセミナー」や「いきいきサロン」などへ参加したくても移動手段のない方を運転ボランティアが送迎しています。

《現状と課題》

ボランティアが減少しているため広報等よびかけをしています但確保が難しいです。また予定していたボランティアが活動できなくなった場合はボランティア同士調整をしていただいたり、職員が代わって対応しています。背景には、定年制の延長やフルタイムではなくても仕事を続けておられる方が増えていることもあるのではないかと思います。

	実利用者数	延べ利用者数	ボランティア 延べ活動人数	利用日数
いきいきセミナー	25	178	275	62

参考：運転ボランティア 登録人数＝16名

(9) 介護用具貸出事業

《事業の概要》

介護保険等を利用できない方優先に介護機器を貸出しています。

《現状と課題》

毎年多くの方にご利用いただいています。車いすについては、新品を寄付いただいたり、善意銀行の寄付金を使わせていただいて購入したので、錆の無い真新しい車椅子を気持ちよく利用していただけたのではないかと思います。

自走式だけではなく、介助式の車いすの需要も一定数あります。また、貸し出し・返却の手続きにご本人やご家族が来所できず、ケアマネジャーが代理されている場合もあります。

貸出台数 (延べ)	車イス	その他 (シャワー椅子、歩行器等)
	175 台	14 台

(10) 視覚障害者用朗読テープ利用者

《事業の概要》

情報を得る事が難しい視覚障害のある方を対象にテープや CD で町広報や社協だより、新聞コラムなどの情報を音声でお届けしています。

《現状と課題》

利用者が少ないのが課題です。テレビやラジオで情報を得ているのでテープを聞くのが煩わしいという方もいらっしゃいます。一方長く利用いただいている方からは声でのボランティアさんか分かるし、毎月楽しみにしていると言われています。

内 容	送付回数	実人数	延べ人数
広報・社協だより・新聞コラム	12	3	36

(11) 日常生活自立支援事業

《事業の概要》

在宅生活されている判断能力に不安のある高齢者や知的・精神的な障害のある方などが地域で自立した生活を送ることができるよう福祉サービスの利用援助、日常的金銭管理、通帳や印鑑の預かりなどのお手伝いをします。

《現状と課題》

金銭管理や生活上の様々な支援によって契約している方の日常生活は安定させることが出来ています。しかしながら、浪費等の予防のために金銭管理等が必要な方であっても本人の同意がないために契約できず、支援に入れないなどの課題があります。

また本来は成年後見制度の利用が必要な方でも金銭及び手続きのハードルが高いため、本制度がカバーしている現状があります。

契約人数 11 名（認知症高齢者 5 名、精神障害者 2 名、知的障害者 2 名、その他 2 名）

※新規契約者 1 名、解約 4 名（保佐人交代 1 名、死亡 1 名、自己管理 2 名）

訪問	408 回
電話連絡	329 回

(12) 地域生活支援事業「おたがいさん」

《事業の概要》

支援の必要な方に対して暮らしのちょっとした困りごとを有償サポーターにお手伝いしていただくことで、地域のたすけあい活動を進めていきます。また活動の際には、利用者本人にも無理のない範囲の協力をお願いし、サポーターと共に行う活動を目指します。

《現状と課題》

利用者が固定化してきている為、事業の啓発をすすめる必要があると感じています。またそれに伴い新たな活動の担い手を確保する必要があります。サポーター同士のつながりができ、定例会では情報交換が活発に行われています。

- ・サポーター登録者 26 名
- ・依頼世帯 実人数 32 名

本人の状況	家族状況	人数
高齢	独居	14
	夫婦	5
	介護者を抱える家族	3
	障害のある家族	2
	二世帯（日中独居）	4
障害	独居	1
	障害者を抱える家族	1
	二世帯（日中独居）	1
経済困窮	独居	1

・相談経路

ケアマネジャー	6
地域包括支援センター	6
民生委員・児童委員	2
本人	14
社協	2
近隣住民	1
加古川健康福祉事務所	1

・依頼延件数

件数	活動サポーター
212 件	261 名

・依頼内容 212 件

内 容	件数
清掃	68
通院付添	27
買い物	26
修理	9
草刈り・草引き	20
洗濯乾燥	38
庭木の剪定	10
窓ふき	1
その他	13
合計	212

(13) 介護ボランティアポイント事業

《事業の概要》

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、高齢者による介護保険施設等におけるボランティア活動を支援することで、地域貢献や社会参加を促進し、自分自身の介護予防や、地域の介護予防を推進することを目的として実施しています。

町内に住所がある 65 歳以上の人（介護保険の要介護認定を受けている人などは除く）

が対象です。町が指定する社会福祉法人などの施設（受入施設）でボランティア活動を行った場合に、その実績に応じてポイントを付与します。ポイントに応じ、活動交付金（稲美町共通商品券）を交付します。

《現状と課題》

いきいきサロンでチラシ配布を行い、社協広報において事業を掲載することでボランティア活動者は少しずつ増えています。介護をした経験を活かして活動されている方もあり、活動者の生きがいになっているという声をいただいています。

登録ボランティア	27 名
手帳発行部数	27 冊
活動先	4 か所
登録活動先	9 か所

	施設活動	在宅活動	合計
活動ポイント数	750	205	955

2 当事者への支援

(1) 介護者のつどい「さくら草の会」

《事業の概要》

介護者がつどい、想いを共有したり情報交換を行ったりと心のリフレッシュを目的としています。介護の種別は問いません。

原則毎月第4金曜日 10時～12時

《現状と課題》

参加者の希望をもとに学習会や施設見学なども実施しています。新しく参加される方が年間1～2名程度、現在介護中の方の参加は3名程度で、年数を重ねるごとに介護を

終えられた方の参加割合の方が多くなっています。会の内容は充実しているのもっと多くの方に参加頂けるような広報が課題です。

月 日	参加者	内 容
4 月 27 日	15 名	ニュースポーツ（カローリング、ヒットだターゲット）
5 月 25 日	15 名	勉強会（家族信託について）
6 月 22 日	14 名	施設見学（有料老人ホーム稲穂の郷）
7 月 27 日	13 名	バス旅行行先検討、おしゃべり会
8 月 24 日	10 名	実習生との交流会
9 月 28 日	14 名	施設見学（グループホーム国岡）
10 月 26 日	16 名	バス旅行（ネスタリゾート神戸）
11 月 16 日	12 名	施設見学（ケアハウス稲美万葉の郷）
12 月 21 日	15 名	手芸、おしゃべり会
1 月 25 日	9 名	おしゃべり会
2 月 22 日	16 名	勉強会（認知症検査について）
3 月 22 日	14 名	次年度計画策定

（2）認知症を学ぶ会「ほっとファミリー」

《事業の概要》

認知症の方を支えている皆さんがつどい、想いを共有したり情報交換を行ったりと「ほっ」とできる場づくりを目的としています。

原則毎月第4木曜日 10時～12時

《現状と課題》

現状としては、定期参加のメンバーが多数を占めており、気兼ねのない話し合いができる場となっています。また、稲美町外の介護者家族なども幅広く受け入れる形にしております。その反面、定期参加しているメンバーの高齢化や新規メンバーが定着しにくいといった点から、メンバー数が減少し例会の内容が固定化している課題があります。

月 日	参加者	内 容
4 月 26 日	7 名	おしゃべり会
5 月 24 日	5 名	おしゃべり会
6 月 28 日	5 名	おしゃべり会

7 月 26 日	6 名	おしゃべり会
8 月 23 日	6 名	おしゃべり会、人権啓発 DVD 鑑賞
9 月 27 日	12 名	おしゃべり会
10 月 25 日	7 名	おしゃべり会
11 月 22 日	10 名	バス旅行（フラワーセンター、道の駅みき）
11 月 29 日	6 名	おしゃべり会
12 月 20 日	8 名	おしゃべり会（クリスマス会）
1 月 24 日	9 名	おしゃべり会
2 月 28 日	6 名	おしゃべり会
3 月 28 日	7 名	おしゃべり会

(3) 生きづらさを抱える成人をもつ親のつどい

《事業の概要》

発達障害などのちょっとした違いで社会の中でうまく距離がつかめない、などの困り感をお持ちの成人の子どもを持つ親の会です。

原則毎月第 2 水曜日 10 時～12 時

《現状と課題》

潜在化しがちな生きづらさを抱える成人の親の貴重な情報交換の場になっています。しかしながら、潜在化しているがゆえに対象者の把握が難しく、またこのつどいに参加するための心的障壁が高いことから参加者数が伸び悩んでいると思われます。

今年度はこのつどいのことを知って頂くことも目的に 2 回の連続講座（障害年金を考える会）を開催し、多くの方にご参加頂くことができました。結果、継続的な参加に 1 名の方がつながりました。

月 日	参加者	内 容
4 月 11 日	6 名	おしゃべり会
5 月 9 日	6 名	おしゃべり会
6 月 27 日	37 名	勉強会（第 1 回障害年金を考える会）
7 月 11 日	28 名	勉強会（第 2 回障害年金を考える会）
9 月 12 日	8 名	おしゃべり会
10 月 10 日	7 名	おしゃべり会
11 月 14 日	9 名	おしゃべり会

12月12日	6名	おしゃべり会
1月9日	6名	おしゃべり会
2月13日	6名	おしゃべり会
3月13日	7名	おしゃべり会

(4) 子育てひろば事業

ひろば設置数8ヶ所

月 日	内 容	場 所	参加者
6月27日	子育てフェスティバル	加古福社会館	親子79組(179名) 写真コーナー、ぽん菓子コーナー 出店協力
10月15日	子育て広場リーダー会議	いきがい創造 センター	広場リーダー4名 児童館1名、福祉課1名 子育て支援センター2名

三世代交流事業

月 日	内 容	場 所	参加者
5月7日	三世代交流事業打合せ	コスモス児童館	児童館1名
6月29日	三世代交流事業打合せ	コスモス児童館	福祉課1名 児童館3名 子育て支援センター4名
10月20日	三世代交流事業 みんなあつまれ！ いなみっこまつり	いなみ野 体育センター	参加親子86組276名 (子ども150名、大人126名)
11月6日	三世代交流事業反省会	コスモス児童館	福祉課1名 児童館3名 子育て支援センター2名

その他 取り組み

- ・社協だよりにより子育てひろば情報を掲載（ひろば事業の広報・関連行事の告知）
- ・町内イベント時等へ託児ボランティア派遣
- ・夏休みボランティアスクールとひろばの連携企画（おもちゃライブラリー）

(5) 個別支援

- ・当事者のオープンかふえ参加支援 (F 氏) 11 回
(S 氏) 9 回

3 小地域福祉活動の推進

(1) 福祉委員活動状況

- 5 月 3 日 ふれあいまつり参加 ポン菓子、福祉体験 7 名参加
- 5 月 11 日 役員会 (総会に向けて)
- 5 月 18 日 福祉委員会総会 (加古福祉会館) 54 名出席
社会福祉協議会・福祉委員活動の説明、福祉会費・福祉懇談会依頼 等
- 6 月 福祉会費納入月間 4,148,400 円
- 7 月 20 日 福祉委員交流研修会 (いきがい創造センター) 39 名
これからの地域での助け合いについて、現状と話し合い
- 8 月 20 日 役員会 (共同募金について、合同研修会、まつりについて)
- 9 月 14 日 自治会長・福祉委員合同研修会 (いきがい創造センター)
「地域における災害対応の実際と今後の課題について」
講師：山本 正幸氏
福祉委員 49 名、自治会長 50 名、自治会役員 4 名、理事 6 名出席
- 10 月 共同募金運動 5,304,399 円
街頭募金 (10 月 1,2 日) 5 名
(にじいろふぁーみん・コープ稲美・マルアイ稲美店・フーディーズい
なみ)
- 11 月 2・3 日 社協福祉ボランティアまつり 準備 6 名、当日 27 名
- 11 月 30 日 福祉講演会 (コミュニティセンターホール)
「生きる」を考える ～私の体験から伝えたいこと～
講師：濱口 直哉氏
89 名参加 (うち福祉委員 12 名)
- 12 月 歳末助け合い運動 1,263,950 円
- 2 月 27 日 役員会 (共同募金報告、1 年の振り返りについて、アンケート結果につ
いて)
- 3 月 25 日 ボランティア連絡会啓発講演会 3 名

参考：福祉委員アンケート回収：42 人／65 人

1. 自治会役員会に定期的に出ているか はい（34 人） いいえ（8 人）
他の役員との兼務は？ 兼務無し（26 人）
兼務ありは、以下のとおり
副会長：5 人、会計：2 人、交通安全：2 人、防犯連絡所：2 人、環境委員：2 人
生涯学習推進員：1 人、ひろば運営委員：1 人、隣保長：2 人
2. 福祉委員になったことで、自治会から依頼されたことは？
社協事業への参加報告、自治会行事への参加協力、募金関係、地区懇談会、
民生委員さんの手伝い、ひろば・サロンの手伝い（3 人）
3. サロンやひろばの認知度について
 - ・事業を知っている
サロン（34 人）、いきいきひろば（28 人）、ミニひろば（6 人）
 - ・対象年齢になれば、参加したいと思うか
サロン（23 人）、いきいきひろば（11 人）、ミニひろば（4 人）
内容はよく知らないが、貴重な取り組みだ
 - ・参加したくない理由
参加するのが面倒（3 人）、内容が好みでない（2 人）、別の用事と重なっている（2 人）、自分は若いし、忙しい（2 人）、老人クラブに加入していない、内容がわからない、これ以上役を増やしたくない、その年になってみないとわからない（3 人）
4. 高齢になっても障害があっても安心して暮らせる地域にするには
 - ・ハード面
交通手段の充実（5 人）、いつでも気軽に行ける場所（4 人）、医療施設・福祉施設（3 人）、歩いていける停留所（2 人）、車いすの人が乗れる巡回型のバス（2 人）、付添い、歩道、ウォーキングのできる場所、憩いの場、防犯カメラ、無料の健康診断、精神疾患の人でも利用できる短期入所施設
 - ・ソフト面
気軽に相談や話のできる人（5 人）、助け合いのやさしい気持ち・気配り（3 人）、生きづらさを抱えている人の話を聴いてくれる電話相談のようなものがあれば（2 人）、ご近所の声掛け運動、24 時間の見守り、学習の場、定期的な家庭訪問、地域包括ケアの充実
 - ・そのことを実現するのに、ご自身でもこれなら参加できる、ということとは？
交流の場・イベントに参加する（3 人）、すでに自分でも話を聴いている（2 人）、

ご近所さんの助け合いボランティア（2人）、送迎（2人）、出来るだけ話をする

(2) 福祉懇談会開催状況

■ 18 自治会（中一色自治会は2回開催） 延べ 472 名参加

加古地区	母里地区	天満地区	天満東地区	天満南地区
六軒屋 (10月15日)	印西 (6月7日)	昭和苑 (7月8日)	相ノ山 (9月27日)	東山 (9月29日)
上新田 (10月27日)	蛸草上条 (7月1日)	西和田 (7月14日)	岡西 (11月30日)	和田 (10月27日)
三四軒屋 (10月28日)	草谷 (11月25日)	中一色 (8月4日)		大池 (11月17日)
北新田 (11月18日)		(11月18日)		
		国安団地 (9月2日)		
		北山 (11月11日)		
		稲美野荘園 (11月20日)		

■ テーマ（1自治会が2回開催のため合計は19自治会）

「若い支度を考える講座（エンディングノートについて）」…5自治会

「懇談会」…4自治会

「これからの地域での助け合いについて」…3自治会

「災害対応カードゲーム（クロスロード）」…3自治会

「地域生活支援事業（おたがいさん）について」…1自治会

「認知症サポーター養成講座」…1自治会

「避難行動要支援者の支援について」…1自治会

「成年後見制度と日常生活自立支援事業について」…1自治会

(3) いきいきサロン実施状況

《事業の概要》

月1回、おおむね65歳以上の高齢者が地域の公民館等を集い、ニュースポーツや体操、手工芸や脳トレなどで午前中の約2時間を過ごす事業です。ハートスタッフを専任で配置し、毎年会場ごとに事業の計画を行っています。必要に応じてボランティアを配置しています。原則は、歩いて行ける地域の公民館が会場ですが、高齢や障害等により参加が困難な方には送迎サービスも行います。

多様なニーズに見合う事業を展開することで、高齢者の健康づくり、閉じこもり予防、生きがい対策を推進し、健康長寿の実現を目指しています。

《現状と課題》

町全体の高齢者数は増加していますが、参加者は減少しています。

参加者ご自身で次年度の計画を考えていただきますが、体を動かすものや歌などが人気です。

どこの会場でも会長等役員のなり手に苦労しておられます。お道具の運搬が負担になってきている地区も増えてきています（軽トラ・車がない、免許がないなど）。

健康長寿の実現のためには社会と多くの接点を持つことが不可欠であるということは、多くのデータが示唆しています。老人クラブに入会し、高齢者自身が積極的にサロンに参加したいと思えるような動機づけが必要ですし、また、できるだけ役員の負担を軽くする工夫も必要かと思われます。

55 会場でいきいきサロン開催

ハートスタッフ 20 人、 ボランティア 13 人

	参加実人数	参加延べ人数	新規参加者
平成 30 年度	1,342 人	9,966 人	134 人
平成 29 年度	1,356 人	9,917 人	122 人
平成 28 年度	1,392 人	10,438 人	121 人
平成 27 年度	1,467 人	10,922 人	123 人
平成 26 年度	1,448 人	11,058 人	152 人
平成 25 年度	1,433 人	10,774 人	148 人
平成 24 年度	1,464 人	10,891 人	162 人

- ・ 28 年度から全会場で体力測定を実施 55 箇所
- ・ ハートスタッフ会議 4 回
- ・ サロンボランティア会議 2 回

(4) 生活支援等体制整備事業

《事業の概要》

日常生活上の支援が必要な高齢者が、住み慣れた地域で生きがいをもって在宅生活を継続していくために必要となる多様な主体による多様な生活支援等サービスの提供体制を構築するため、支援ニーズとサービスのコーディネート機能を担い、サービスを提供する事業主体が連携して支援体制の充実・強化を図ることを目的とする事業。

生活支援等サービスの多様な提供主体等が参画し、定期的な情報共有及び連携・協働による生活支援等体制整備を推進することを目的としたネットワークとして協議体を設置。

平成 30 年度より、稲美町から受託。

《現状と課題》

社会福祉士の資格を持つ職員が、嘱託にて 10 月から着任。社会福祉協議会が、従前より担ってきた住民主体の地域福祉活動と軌を一にするものであることから、他市町においても、社会福祉協議会が受託しているところが多い事業です。

高齢者が生きがいをもって豊かな地域生活を送る前提として、身近なところに参加できる場や、活躍できる場の存在が大きな意味を持つという考えから、まず、地域の中にある大小様々な、居場所や活動に光を当てるところから取り組んでいるところです。

① 地域資源やニーズの把握

種 別	延べ回数	参 加 場 所
いきいきサロン	98 回	愛宕、池ノ内、中新田、稲美野荘園、七軒屋、十七丁、六分一山、和田、野谷団地、上野谷、蛸草第二、印西西、学校前、六分一、下草谷、北山、見谷、三四軒屋、大沢、向山、国安、印西東、中一色、西山、東山、国安団地、野寺、国北、菊徳、蛸草第一、昭和苑、六軒屋、相ノ山、下野谷、森安、琴池、北新田、八軒屋、岡東、草谷、千和池、百丁場、金守、小池前、印東、出新田、五軒屋、上新田、国岡、大池、第五昭和苑、幸竹、西和田、中村
いきいき広場	16 回	向山、出新田、金守、中新田、岡東、六分一、国安北部、下草谷、七軒屋、森安、幸竹、岡西、
いきいきミニ広場	14 回	相ノ山、中一色、西山、国安団地、北山、千和池、下野谷、上野谷、愛宕、昭和苑、上場、

グラウンドゴルフ	13 回	印東、下草谷、中一色、蛸草第二、五軒屋、下野谷、 琴池、池ノ内、昭和苑、大池、草谷、蛸草第一、六軒 屋
福祉懇談会	3 回	六軒屋、稲美野荘園、北山
喫茶、趣味の会等	9 回	認知症カフェ、稲美野荘園、下沢、昭和苑、印東
合 計	153 回	

※上記に参加し、順次、地区カルテを整備中。

② 研修への参加 10 回参加

月 日	内 容	会 場
11 月 13 日	生活支援体制整備事業 実践セミナー	兵庫県民会館
11 月 16 日	老いの準備 自助と支え合い互助	大阪市西区
11 月 24 日	福祉フォーラム	小野市
12 月 17 日	第 2 回職員部会 業務研修会	播磨町
12 月 21 日	見守り合いの再構築	兵庫県私学会館
1 月 11 日	「移動」と「食」を支える生活支援体制整備に向け た研修会	兵庫県私学会館
2 月 2 日	かがわ社協ささえあいフォーラム	加古川市
2 月 20 日	第 3 回業務研修会 生活支援コーディネーター情報 交換会	多可町社協
3 月 1 日	生活支援コーディネーター情報交換会	姫路商工会議所
3 月 8 日	生活支援体制整備事業 全県フォーラム	のじぎく会館

③ 第一層協議体の開催について

月 日	内 容	会 場
12 月 26 日	(1) 生活支援等体制整備事業について (2) 生活支援コーディネーターの活動報告 (3) 地域から聞こえてきた声等について	障害者ふれあい センター

4 連絡調整事業の推進

(1) 各機関連絡調整会議

(兵庫県社会福祉協議会管轄)

社協会長会議	2 回
評議員会	1 回
事務局長会議	3 回
生活福祉資金貸付事業担当者会議	2 回
日常生活自立支援事業担当者会議	1 回
日常生活自立支援事業 専門員・担当者研修会	1 回
生活支援コーディネーター情報交換会	1 回
生活困窮者自立支援事業連絡促進会議	1 回
災害ボランティアコーディネーター養成研修	2 回

(東播磨ブロック管轄)

東播磨ブロック協議会総会	1 回
東播磨ブロック協議会事務局長会議	1 回
東播磨ブロック協議会職員部会	1 回
日常生活自立支援事業専門員・担当者情報交換会	1 回
生活福祉資金貸付事業にかかるブロック別意見交換会	1 回

(兵庫県共同募金会管轄)

評議員会	2 回
募金部会	1 回
事務局長会議	2 回
職員研修会	1 回

(加古川健康福祉事務所管轄)

東播磨臨海精神保健協会	1 回
東播磨圏域健康福祉推進協議会	1 回
健康ひょうご 21 県民運動東播磨会議	1 回

(加古川医師会管轄)

在宅医療推進協議会第 7 回総会	1 回
医療・介護ケア連携研修会	2 回

(稲美町管轄)	
地域ケア会議	1 回
稲美町国民健康保険運営協議会	1 回
稲美町要保護児童対策地域協議会	2 回
地域包括支援センター運営協議会・地域密着型サービス運営委員会	1 回
稲美町障害者福祉推進協議会	1 回
稲美町行財政改革懇談会	1 回
稲美町まちづくり活動サポート補助金交付審査会	1 回
ふれあいまつり関連会議	5 回
大池まつり関連会議	5 回
トライやるウィーク実行委員会（稲美北・稲美中）	6 回
地域公共交通会議	1 回
相談担当者連絡会	5 回
認知症相談窓口担当者連絡会	5 回
稲美町地域ネットワーク会議	3 回
稲美町子ども・子育て会議	1 回
稲美町健康づくり推進協議会	2 回
稲美町地域自立支援協議会	
全体会（2）、運営会議（8）、進捗管理部会（2）、課題別会議（1）、ワーキングチーム（7）、研修（2）	合計 22 回
自立支援協議会 3 市 2 町連絡会	1 回
稲美町まち・ひと・しごと創生推進委員会	2 回
キャラバンメイト連絡会	2 回

(生活支援体制整備事業関連研修・会議等)	
生活支援体制整備事業基礎セミナー	1 回
生活支援体制整備事業実践セミナー	1 回
移動と食を支える生活支援体制整備事業研修会	1 回
生活支援コーディネーター情報交換会（県域、各市町）	3 回
生活支援体制整備事業全県フォーラム	1 回
老いの準備、自助と互助講演会	1 回
見守りあいの再構築について	1 回
他市の実践視察	3 回

(その他)	
地域ケア研究大会	1 回

加古川地区防犯協会総会	1 回
県民フォーラム	1 回
県社会福祉大会	1 回
地域福祉情勢セミナー	1 回
社会を明るくする運動	1 回
社会福祉士養成に関する講演会	1 回
生活困窮者自立支援意見交換会	1 回
ユニバーサル社会づくり地域セミナー	1 回
社会福祉法人監事研修（県主催）	1 回
包括的支援体制セミナー	1 回
苦情解決セミナー	1 回
地域生活支援拠点等の整備促進、必要な機能の強化充実のための 都道府県ブロック会議（国と県の共催）	1 回
子どもの心の診療ネットワークシンポジウム	1 回
相談支援従事者講習（5 日間）	1 回
成年後見フォーラム	1 回
健康ひょうご 21 県民運動推進フォーラム、研修会	1 回
県民運動推進員・8020 運動推進員研修	1 回
精神障害家族会連合会全国大会 in 神戸	1 回
7 月豪雨災害救援（職員派遣・ボランティア）	2 回

（2）東播磨ブロック社協職員業務研究会

月 日	内 容	場 所
9 月 25 日	知って得する、会議のコツ	稲美町障害者ふれあいセンター
12 月 17 日	実践から学ぶファシリテーションの技術	播磨町野添コミュニティセンター
2 月 20 日	生活支援コーディネーター情報交換会	多可町社会福祉協議会本部

5 相談事業の推進

（1）心配ごと相談所

《事業の概要》

住民の身近な相談窓口として司法書士、社会福祉士、学識経験者（民生委員児童委員

経験者)の3人体制で様々な相談に応じます。事前予約は必要ありません。週ごとに会場を変えて実施しています。

《現状と課題》

毎回の相談に司法書士が参加し、比較的相談をゆっくりお聞きすることができるので問題解決に向けて頼りになる相談窓口として機能しています。開催回数の割に利用件数が非常に少ないのが現状ですが、社協だよりに記事を掲載した直後は利用増になる傾向があります。

空いている時間は社協に寄せられる相談に助言を頂いています。特に障害者ふれあいセンターへの来談者が少ないのが現状です。

開催日・場所	第1木曜日 総合福祉会館 第3木曜日 母里福祉会館 第4木曜日 障害者ふれあいセンター
時 間	13時30分～15時(33回開催)
相 談 員	民生委員児童委員・司法書士・学識経験者 計13名、事務局職員
相談利用者	延べ24名

(2) 法律相談

《事業の概要》

住民の身近な相談窓口として弁護士が法律的な相談に応じます。

《現状と課題》

弁護士が相談対応することで心配ごと相談よりも法的に複雑かつ広範囲な相談に応じています。開催回数の割に利用件数が少ないのが現状ですが、同様に社協だよりに記事を掲載した直後は利用増になる傾向があります。

また社協が相談内容を詳細には把握していないのでフォローできる相談がそのままになっている可能性があるのが課題です。

開催日・場所	第2木曜日 障害者ふれあいセンター
時 間	13時00分～15時00分
相 談 員	弁護士
相談利用者	延べ16名

(3) 生活福祉資金等貸付相談

《事業の概要》

高齢者世帯や障がい者世帯、低所得者世帯に子どもの学費や離職してしまった際の生活費などの資金を貸付することで世帯の自立を支援しています。主管は兵庫県社会福祉協議会ですが、身近な各市町社協が窓口対応することで、継続的な相談見守りを行っています。

《現状と課題》

資金の貸付可能の有無に限らず、経済的課題を抱える方の相談に応じています。そんな中で、貸付の資金種類は多岐に渡るものの、実際の申込に至るのは教育支援資金（教育費）と総合支援資金（離職者支援）の2種類のみというのが現状です。また相談自体も件数が多い訳ではなく、本資金の広報面で課題があります。

・生活福祉資金における相談実人数 24名

・生活福祉資金における貸付相談対応件数

相談方法	相談元	相談対応件数
電話によるもの	借入希望者・借受人等	36件
	関係機関	52件
来訪によるもの	借入希望者・借受人等	51件
	関係機関	4件

(4) その他の相談

面接 629回

電話相談受付 765回

6 福祉教育推進事業について

(1) 福祉教育出前講座

《事業の概要》

福祉への理解と関心を高め、子ども達の思いやりの心を育んでいく為に出前講座を

行っています。講演会や車いす体験など学校のご要望に応じて調整を行います。

《現状と課題》

毎年複数の学校からの依頼があり、協力的な当事者の方に負担が偏るため、事務局でサポートしながら対応しています。限られた当事者の方の負担軽減を検討する必要があります。

加 古 小 学 校	5 月 29 日	6 年 生 34 名	障害者ふれあいセンター見学
	5 月 29 日	6 年 生 34 名	車椅子体験
稲 美 中 学 校	10 月 31 日	1 年 生 109 名	福祉講座
天 満 小 学 校	12 月 6 日	5 年 生 113 名	車いす体験
天 満 南 小 学 校	12 月 11 日	4～6 年 生 96 名	車いす体験
母 里 小 学 校	2 月 5 日	6 年 生 50 名	車椅子体験

(職員が出向いて福祉についての講義)

(2) 福祉教育推進事業指定校活動報告

《事業の概要》

福祉への理解と関心を高め、子ども達の思いやりの心を育んでいく為の学習を支援する事業です。毎年、町内の小中学校（全校）、保育園幼稚園（1園）に助成を行っています。

《現状と課題》

各校で様々な取り組みを企画、実施していただき、実施状況を報告書にまとめて年度末に提出いただいております。各校ごとに特色ある内容で実施しており、園児や児童が福祉に触れ合う機会の一助になっている様子が伺えます。

稲 美 中 学 校	■七夕交流会
	・いなみ野特別支援学校中学部との交流
	■なんなん夏祭り
	・地域との交流
	■福祉体験学習
	・稲美町内の福祉施設へ訪問、交流
	・インスタントシニア体験（高齢者疑似体験装具を装着、理解促進）

	■職業講話 ・理学療法士による講話 ■スカイプレッスン ・小学生と英語の授業で交流
稲 美 北 中 学 校	■年間定期活動 ・生徒会厚生委員会による老人福祉施設訪問 ■吹奏楽部 ・町内福祉施設にてコンサート ・加古小学校区子ども会イベント ・天満地区ふるさとまつりにて演奏 ・加古地区ふるさとまつりにて演奏 ・国際交流協会サマーコンサート ・北新田公民館サマーコンサート ・天満第1、第2放課後児童クラブサマーコンサート ・天満小学校区子ども会イベント ・コスモス畑コンサート ・稲美苑コンサート ・にじいろミュージックフェスティバル ・いなみ冬景色オープニング演奏 ・高砂市肢体不自由児親の会クリスマス会 ・社会福祉協議会クリスマスコンサート ・加古川中央市民病院クリスマスフェスタ ・加古幼稚園新春コンサート
加 古 小 学 校	■福祉委員会活動（通年実施） ・アルミ缶収集（アルミ缶回収の収益を稲美町社協へ寄附） ■1年生 ・児童の祖父母との交流 ・幼稚園と交流 ■2年生 ・1年生と交流（校内体験） ・幼稚園児、保育園児と音楽交流 ■3年生 ・文化の森やさしさ発見隊（バリアフリーについて考える） ・地域住民と交流（田植え、稲刈り体験） ・障害理解の学習（盲導犬とのふれあい、点字学習体験） ■4年生

	・点字学習体験 ・手話学習体験 ■5年生 ・いのちの話（沼田クリニック院長の話） ■6年生 ・車椅子体験 ・稲美町社会福祉協議会より障害者福祉についての話 ■すぎのこ学級、たけのこ学級、そよかぜ学級 ・3年生との交流（クイズや、清掃を通じて交流） ・他校特別支援学級児童生徒との交流（遠足、バス旅行、クリスマス会を通じて交流）
母 里 小 学 校	■体験活動（トマト名人の指導の下、2年生が栽培） ■田植え～稲刈り（おはぎ作りまでを3年生が実施） ■職員研修 ・民生委員懇談会 ・兵庫県人権教育大会東播磨大会 ■老人クラブとの交流会（グラウンドゴルフをしながら6年生が交流） ■学習発表会（家族や地域住民を招いて全校生が実施） ■芸術鑑賞会（母里幼稚園、母里保育園児を招待） ■健康安全セミナー（禁煙の正しい知識について6年生を対象に学習） ■稲同協研究大会（教職員参加） ■車いす体験学習 ■6年生を送る会（全校生） ■くすのき、こすもす、わかくさ学級との交流（学校全体で関わりを深め、全校生と給食交流） ■じんけんわくわくスクール ■いなみ野特別支援学校との交流
天 満 小 学 校	■お年寄りといっしょに ・短歌、戦争体験の話等を通じてお年寄りと交流 ■車椅子体験 ■点訳体験学習 ■盲導犬教室 ■お話会 ■高齢者訪問（花、千羽鶴、手紙を持ち、校区内の高齢者宅を訪問） ■音楽鑑賞会（オペラ歌手の歌とピアノ演奏を鑑賞） ■特別支援教育交流活動（いなみ野特別支援学校との交流）

	■食育、環境学習（野菜、花の栽培や魚の飼育など） ■生命の学習（妊産婦体験） ■ボランティア活動（通年で毎週金曜日朝に実施） ・アルミ缶や古紙回収の収益寄付
天満東小学校	■高齢者との交流 ・笛に親しもう ・琴を奏でよう ・民族楽器に親しもう ・合唱を楽しもう ・平和への願い（語り部による原爆体験を聞く） ・ミシンを教えてもらおう ・だしのとり方を学ぶ ■いなみ野特別支援学校との交流 ・学年交流（ゲームで交流） ■福祉体験学習 ・車椅子体験、車椅子当事者の講話 ・手話体験 ・盲導犬教室 ■思いやり、命を大切にする心を育む活動（通年実施） ・花、野菜等の栽培 ・生き物の飼育 ・特別支援学級との交流給食
天満南小学校	■福祉体験学習 ・野菜栽培体験（特別支援学級の児童が体験） ・地球音楽、鳥の笛 ・陶芸教室 ・手話体験教室 ・車いす体験 ・命の授業（赤ちゃん先生） ■高齢者との交流 ・運動会（1、2年生が高齢者と玉入れ） ・学習発表会 ・なんなんフェスタ（老人クラブ、保護者、地域住民と交流） ・どんど大会（保護者、地域住民と交流） ・昔遊び交流（児童の祖父母と竹馬、コマ回し等をして交流） ・校区内の独居高齢者と交流（花、手紙を届ける）

	・感謝の集い（登下校ボランティアへ感謝を伝える） ■体験活動 ・アルミ缶収集 ・ペットボトルのふた収集 ・芸術鑑賞会 ・募金活動（赤い羽根共同募金、ユニセフ募金） ・1日体験入学（来年度新入生と、現1年生が図工等を通じて交流） ・6年生を送る会 ・交流給食 ・スカイプ英語交流（外国の学校、稲美中学校と英語を使った交流） ■環境整備奉仕活動 ・親子で校内美化活動
天満南幼稚園	■町内福祉施設へ訪問 ・3～5歳児と施設利用者との交流 ■見て知る盲導犬教室 ・盲導犬と訓練士との交流 ■お別れ会 ・老人クラブ、PTA、大学生等との交流

(3) 実習生受入れ

月 日	受入人数	備 考
8月16日～9月19日	1名	神戸医療福祉大学

(4) トライやるウィーク受入

月 日	受入人数	備 考
6月4日～6月7日	25名	稲美中学校7名、稲美北中学校18名

7 ボランティアセンター事業の推進

(1) ボランティアコーディネーター

《事業の概要》

住民とボランティアをつなぐお手伝いをしています。どんな分野でいつ活動をしたいのか、ボランティアコーディネーターがお話をうかがい、その方に合った活動をご紹介します。

《現状と課題》

ボランティア活動者が高齢化しているので、負担なく活動を続けていただけるよう調整を心がけています。地域活動とボランティア活動を同時に行っておられる方もあります。ボランティア活動の参加よびかけをしてもらうなどそれぞれの活動でよい影響を及ぼしています。

72 件（新規登録 27 名）情報提供希望者含

(2) 活動相談、助言等

ボランティア相談

111 回（来所者 49 名）

(3) ボランティアスクール

《事業の概要》

ボランティア活動経験のない方、初心者にはボランティア活動体験をする機会を提供しています。体験を通して地域に生きづらさを抱える方がいらっしゃることを、誰かのために活動されるボランティアさんがいることを知り、支えあう地域づくり、ひとりぼっちを作らない地域をめざす活動について知っていただきたいと思います。

《現状と課題》

点訳講座を開催して頂いたところ大変好評でした。小学校の福祉学習で体験をした際に興味を持ち、もっと学びたいと思って参加したという声がありました。中高生の参加は少ないのですが、おもちゃライブラリーの遊びボランティアに参加した中学生は「とても楽しかった。小さい子と遊ぶ時に気を付ける事がたくさんあると分かった。また、来年も参加したい。」という感想がありました。

■小学生の部（延べ参加者 33 名、協力ボランティア 19 名）

月 日	内 容	場 所	参加者
7 月 31 日 9:30～11:30	絵本の点訳体験 （点訳サークルすみれ）	障害者ふれあい センター	12 名 協力 v 5 名
8 月 1 日 13:30～15:00	車椅子体験 （コスモスの会）	加古福社会館	14 名 協力 v 10 名
8 月 2 日 10:00～11:30	未来創造画 （有志ボランティア）	障害者ふれあい センター	7 名 協力 v 4 名

■小学生・中高生～一般の部

（延べ参加者 30 名、延べ行事参加者 97 名、協力ボランティア 57 名、実習生 1 名）

月 日	内 容	場 所	参加者
7 月 26 日 10:00～12:00	手話体験 （手話サークルいなみ）	障害者ふれあい センター	6 名 協力 V 17 名
7 月 26 日 13:30～14:30	こけ玉づくり （花一輪まちづくりの会）	障害者ふれあい センター	12 名 協力 v 15 名
7 月 27 日 10:00～12:00	ゆかた着付け教室 （前結び藤の会）	加古福社会館	2 名 協力 v 7 名
8 月 3 日 9:30～12:00	遊びボランティア （おもちゃライブラリー）	加古福社会館	1 名 協力 v 4 名
8 月 3 日 10:00～12:00	朗読体験 （朗読ボランティアせせらぎ）	いきがい創造 センター	4 名 協力 v 7 名
8 月 7 日 10:00～11:30	傾聴将棋 （傾聴ボランティア陽だまりの会）	障害者ふれあい センター	4 名 利用者 4 名 協力 v 7 名
8 月 21 日 9:30～12:00	わくわくスポーツ交流大会 （社協 実習生）	加古福社会館 きらめきホール	1 名 参加者 97 名 実習生 1 名

※8/2 要約筆記、8/23 歌謡ボランティア体験は定員に満たない為中止

（4）各種養成講座の実施

① 要約筆記啓発講座

定員に満たないため中止

② ボランティア講座（オープンかふえの中で実施）

月 日	内 容	場 所	参加者
4 月 13 日	コミュニケーション麻雀 講師 入江政行氏	障害者ふれあい センター	12 名
5 月 11 日	楽座会かふえ 永瀬 信子氏、志染フラワーズ	障害者ふれあい センター	14 名
6 月 8 日	お楽しみかふえ	障害者ふれあい センター	14 名
7 月 13 日	マジックかふえ 講師 堀田隼人氏	障害者ふれあい センター	17 名
9 月 14 日	コミュニケーション麻雀 講師 入江政行氏	障害者ふれあい センター	12 名
10 月 12 日	大正琴かふえ 演奏 和みの会	障害者ふれあい センター	16 名
11 月 9 日	「くすくす」コンサート	障害者ふれあい センター	20 名
12 月 14 日	ちぎり絵 講師 工藤雅子氏	障害者ふれあい センター	11 名
1 月 11 日	ぜんざいかふえ	障害者ふれあい センター	14 名
2 月 8 日	ハンドベルかふえ ポコ ア ポコ	障害者ふれあい センター	14 名
3 月 8 日	歌謡かふえ POP スター	障害者ふれあい センター	18 名

参加者 162 名

③ 手話入門講座

月 日	場 所	参加者数
9 月 11 日～2 月 26 日 (全 21 回)	障害者ふれあいセンター 多目的室	延 168 名 活動継続者 1 人

④ 手話通訳者養成講座（基礎）

6 月 6 日～11 月 7 日 毎週金曜日 全 22 回

受講者のべ名 220 名

⑤ 傾聴ボランティア講座

月 日	内 容	講 師	参加者
1 月 28 日	コミュニケーションの基本	心理カウンセラー 稲松 由佳氏	7 人
2 月 4 日	傾聴の技術		5 人
2 月 18 日	認知症について	グループホームにしむら 梅谷 公子氏	7 人
	稲美町の高齢者の現状	地域包括支援センター 森本実佳氏	
2 月 25 日	「笑顔の花を咲かせましょう ～笑顔の体操～」	あい☆えがお代表 山本えり氏	7 人
	活動先紹介	稲美町傾聴ボランティア	

(参加人数 7 名 延べ人数 26 名)

(5) 傾聴ボランティアグループ活動の支援

《事業の概要》

稲美町内の高齢者宅や施設等に出向き、いろいろなお話を聴きながら、一緒におしゃべりする活動を通じて、ひとりでも多くの方に心安らぐ時を提供できることを目的としています。

《現状と課題》

「おしゃべりできるのを楽しみにしている。また、来てほしい。」と傾聴ボランティア利用者から喜ばれています。傾聴ボランティアだけで調整できないケースは他のグループに協力を得ながら活動を行っています。

- ・ 傾聴ボランティア人数 28 人
- ・ 傾聴ボランティア派遣延べ人数 997 人 463 回
- ・ 定例会の実施 12 回
- ・ 役員会の実施 12 回

傾聴ボランティア活動状況（延べ人数と活動回数）

対象者（施設）	活動回数	ボランティア 延べ人数
施設傾聴（稲美苑、サンライズ、宅老所憩いのとき）	86 回	300 人
他ボランティア協力（稲美苑音楽リハ、エコクラブ）	187 回	304 人
傾聴将棋	50 回	102 人
個人傾聴（対象は 13 件）	140 回	291 人
計	463 回	997 人

(6) ふれあいまつり

5 月 3 日

模擬店コーナー：ボン菓子

福祉体験コーナー：車椅子

ボランティア 9 名、福祉委員 7 名

内 容
ボン菓子@50 円×51 個（強風のため途中で中止）

(7) いなみ大池まつり

8 月 11 日 駄菓子詰め合わせの販売（120 個） 売上は善意銀行に寄付

(8) 交流会

視覚障害者交流会

月 日	内 容	場 所	参加者
8 月 30 日	スポーツ交流会	障害者ふれあいセンター	5 名 協力 v 2 名 実習生 1 名
11 月 30 日	視覚障害者バス旅行	キリンビール工場見学	5 名 協力 v 4 名

2 月 27 日	ピザづくり	加古福社会館	5 名 協力 v 2 名
----------	-------	--------	-----------------

参加者延べ 15 名 協力 v 8 名 実習生 1 名

聴覚障害者交流会（耳の日のつどい）

月 日	内 容	人 数
3 月 16 日	手話言語条例について	23 名

稲美町ろうあ協会会員、手話サークル会員、稲美難聴者会、要約筆記サークルひだまり、一般

(9) ボランティア連絡会の開催

■連絡会会議

月 日	内 容
4 月 17 日	第 1 回ボランティア連絡会 前年度決算報告と事業報告、今年度予算と事業計画、 スポーツ交流、ふれあいまつり、トライやるウィークについて
6 月 19 日	第 2 回ボランティア連絡会 夏休みボランティアスクール、社協福祉ボランティアまつり等について
9 月 11 日	第 3 回ボランティア連絡会 社協福祉ボランティアまつり等、バス研修、交流会について
1 月 15 日	第 4 回ボランティア連絡会 社協福祉ボランティア祭り、バス研修、交流会等について報告 啓発講演会、来年度事業計画について

ボランティア連絡会の構成

グループ数 25 グループ

会員数 354 名

■各ボランティア総会

月 日	内 容	場 所	人 数
2 月 20 日	給食ボランティア代表者会議	いきがい創造 センター	8 名

3 月 20 日	運転ボランティア会議	障害者ふれあい センター	9 名
3 月 28 日	手話サークル総会	障害者ふれあい センター	12 名

(10) ボランティア登録者

ボランティア連絡会の構成

グループ数 25 グループ

会員数 354 名

ボランティアセンター グループ数 5 グループ

会員数 54 名

個人 9 名

(11) ボランティア保険への加入手続き

加入者数：1,481 人

ボランティア保険の適用を申請された方＝社協関係者 1 人
外部団体 1 人

8 啓発活動

(1) 広報紙等の発行 毎月

(2) 各種ボランティア募集チラシの発行

1	給食調理ボランティア
2	花一輪まちづくりの会ボランティア
3	おもちゃライブラリーボランティア
4	運転ボランティア「わかば」ボランティア
5	要約筆記ボランティア

6	朗読ボランティア
7	どんまい!!れんげ草ママの会 イベントサポートボランティア
8	いきいきサロンボランティア
9	社協オープンかふえ
10	傾聴ボランティア
11	社協福祉ボランティアまつりボランティア

9 その他

(1) 福祉会費 4,148,400 円

《事業の概要》

住民を会員として町全体の福祉活動をすすめる社会福祉協議会の運営維持経費及び相談事業、ボランティア関係事業、地域福祉推進事業を支える会費です。

《現状と課題》

自治会を通じて依頼させて頂くことで多くの世帯にご協力をいただいています。しかしながら、自治会の負担面から一括での納付が進んでいることもあり世帯個々が福祉会費を納めている実感が無いのが現状です。住民を会員とする社会福祉協議会であること、その活動財源に住民が協力をしていることについての広報が行き届いていないことが課題です。

(2) 共同募金

《事業の概要》

社会福祉法に規定され、厚生労働大臣の告示により全国一斉に展開される募金運動です。地域福祉を進めるための財源として、社会福祉協議会のみならず、ボランティアグループや障害者団体等の活動費として配分されます。

《現状と課題》

住民や企業・商店等多くのご協力とその募金を集めて頂く自治会、福祉委員、民生委員児童委員など多くの募金ボランティアのご尽力によって多額の募金を頂いています。

しかしながら全国的な傾向ではありますが、年々募金額が減少しています。多くの方に募金の意義をご理解頂けるような広報の在り方が課題です。

目標額 5,749,000 円 達成率 92.3%

内 容	金 額
戸 別 募 金	3,950,246
学 校 募 金	124,240
法 人 募 金	1,046,000
職 域 募 金	131,956
街 頭 募 金	25,165
イベント募金	11,533
そ の 他	15,259
合 計	5,304,399

平成 31 年度稲美町へ配分金として 4,692,000 円

(3) 歳末たすけあい運動

《事業の概要》

「つながり ささえあう みんなの地域づくり」をスローガンに、共同募金の一環として行われる募金運動です。経済的支援が必要な方への配分や火災などに罹災された方へ配分されます。

《現状と課題》

福祉会費及び共同募金と同様、自治会を通じて依頼させて頂くことで多くの方のご協力を頂いています。用途については大部分を歳末配分金が占めており、対象者の推薦を民生委員児童委員にお願いしています。しかしながら、個人情報や経済的支援の側面から対象者の抽出が難しく、十分な配分が行き届いていないのが現状です。

収入内訳

内 容	金 額
戸 別 募 金	1,243,770

街 頭 募 金	20,150
そ の 他	30
合 計	1,263,950

支出内訳

内 容	金 額
特別支援学級・学校修学旅行助成	240,000
火事見舞	50,000
緊急生活支援	531
歳末配分金	631,000
保育園助成金	286,500
事務費	23,430
次年度繰越金	32,489
合 計	1,263,950

*歳末助け合い配分：89 世帯 182 人へ

(4) 善意銀行

《事業の概要》

住民の「世の中の役に立ちたい、困っている人を助けたい」という善意を生かすために現金、物品等の寄付をお預かりして、これを社会福祉団体や生活にお困りの方などに払い出し、地域福祉の推進のための橋渡しや個別支援をする仕組みです。

《現状と課題》

粗供養として善意銀行に寄付を下することが一般的であった時代に比べると募金総額は大きく減少してきていますが、依然として、地域における住民や団体、企業等の寄付窓口として多くの方々にご協力を頂いています。今後、身寄りのない方の善意の拠り所としての遺贈等広く寄付を受け付けられる仕組みの整備が課題です。

預託金等

預託金	770,215 円	62 件
葉書	12,944 円相当以上	8 件
切手	多数	3 件
お米	555 k g	18 件
車椅子	4 台	4 件

シャワーチェアー	1 台	1 件
タオル	273 枚以上	3 件
食料関係	121.5 k g 以上	6 件
介護パンツ	多数	1 件
シルバーカー	1 台	1 件
車両	1 台	1 件
バザー用品	多数	1 件
衣類	多数	2 件
ダーツ	1 セット	1 件

※件数の重複有り。

指定払出等

払 出 先 等	金 額	物 品
生活困窮者（10 人）	339,000 円	お米、食品
生活困窮者返済分（9 人）	△264,000 円	
火事見舞	10,000 円	
らいふサポートくるみ	35,318 円	
どんまい！！れんげ草ママの会	8,000 円	
中央共同募金会（熊本災害義援金）	9,883 円	
合 計	138,201 円	